

2024 年 2 月 26 日

2023 年度 聖路加国際大学大学院  
看護学研究科課題研究

産痛緩和法「お産の時にできること」に関する  
Instagram 版（試作版）意思決定エイドの開発と評価

Development and Evaluation of an Instagram Version (Prototype) of a  
Decision Making Aid for Women on the Methods of Pain Relief during  
Childbirth

22MW013

林 杏奈

## 要旨

### I. 研究目的

バースプランを妊娠期に書く施設も増えた中で、実施方法については施設毎に異なるのが現状であり、妊婦が産痛緩和についてのバースプランを作成するために、助産師から十分な説明が必要であると言われている。本研究は、産痛緩和法の選択を支援する意思決定エイドの「お産の時にできることエイド」の Instagram 版の試作版を開発し、その試作版について、妊娠 28 週以降の経膣分娩予定の妊婦を対象に、エイドの有用性を検討することを目的とする。

### II. 方法

研究デザインは、記述的研究である。はじめに、既存の産痛緩和法の選択を支援する意思決定エイドの「お産の時にできることエイド」をもとに、Instagram 版の試作版を作成した。次に、妊娠 28 週以降の経膣分娩予定の単胎妊娠の女性 20 名を対象に、質問紙にて試作版の有用性について回答を得た。本研究は、聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：23-A082）。

### III. 結果

本エイドは、高橋（2023）が作成した「お産の時にできることエイド」をもとに、Instagram 版の試作版を作成した。エイドの説明、用語の説明、また STEP 1「納得して決めるための方法を知る」、STEP 2「選択肢の特徴を知る」、STEP 3「何を大切に決めていか明確にする」、STEP 4「お産の時の過ごし方を決める」を作成し、総投稿数は 17 個となった。

研究協力者は初産婦 12 名、経産婦 8 名の合計 20 名であった。Instagram 版の試作版について、有用性の評価項目である「エイドを読む前と比べて知りたいことを知ることができた」、「エイドを通じて気になったまたはやってみたい産痛緩和法を見つけることができた」、「エイドを読むことでバースプランの作成に役立つと思う」の評価について、8 割以上の肯定的な回答が得られた。また、自由記載による意見を踏まえ、Instagram 版の修正版を作成し、総投稿数は 18 個となった。

### IV. 結論

Instagram 版の試作版の有用性を確認することができた。また、エイドを使用する前と後で、Instagram 版のエイドを活用することにより、実際に妊産婦が期待していたバースプランを作成できたか、役に立ったか等を評価する事前・事後評価が必要であると考えられる。